

福祉≠介護

福祉といったら……介護の仕事！このようなイメージをお持ちではないでしょうか？

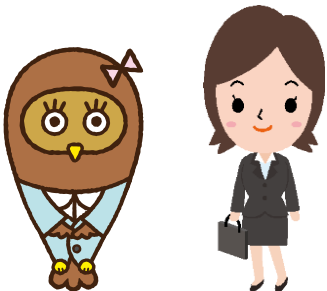
福祉の仕事には、高齢者介護のほかに、障害者や子ども、生活困窮者、地域住民を対象としたものなど、公務員を含め、様々な種類があります。

多岐にわたる福祉の仕事について、そして、それぞれの業務内容について、ときには映像などを用いながら、ご説明します。

どう知りどう動けば？

福祉分野の仕事に興味はあるけど、どんなコンテンツで知ることができて、どう動けば良いのかよくわからない……。そんな悩みを抱える学生さんはいらっしゃいませんか？

福祉業界における就活のイロハをお伝えします。



（東京都福祉人材センター職員を講師派遣し、セミナーを行います）

学内就職ガイダンス



社会福祉法人東京都社会福祉協議会
東京都福祉人材センター

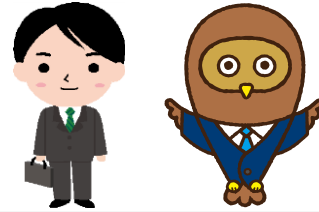
“福祉の仕事”

低収入＋離職率高い

メディアによる報道にもあるように、一般的には福祉の仕事は低収入かつ離職率が高くキャリアアップの叶わない分野としてのイメージが定着しています。

では、ホントのところ、実態はどのようなのでしょうか？

たしかに統計をもとに収入、離職率、その他の業務実態について、お伝えします。



福祉≠資格と経験

福祉の仕事には資格と経験が不可欠。無資格未経験の人には無縁。学生の皆さんにそのような認識はないでしょうか？

もちろん、社会福祉士をはじめ、仕事をするうえで、資格を必須とする職種も一部ありますが、無資格未経験でも可能な職種も十分にあります。

とりわけ、教育関係の学部などでは、必要な資格を本人が無意識のうちに取得していることもあります。

申込は裏面へ